

平成21年7月28日 16:00
厚生労働省健康局結核感染症課
照会先:難波、江浪、山口
(電 話)
内線(2374、2373、2925)

報道関係者 各位

徳島県におけるオセルタミビル(商品名:タミフル)耐性を示す
遺伝子変異が検出された新型インフルエンザウイルスについて

徳島県から、タミフル耐性を示すH275Yの遺伝子変異を持つ新型インフルエンザウイルスが分離されたとの報告がありましたので、その概要について、別紙のとおり、情報提供します。

資料提供			
月日（曜日）	担当課名	電話	担当者
7月28日（火）	健康増進課長	088-621-2736	石本
15:30	感染症疾病対策室長	088-621-2228	大西

**抗インフルエンザウイルス薬「タミフル」に耐性を示す
遺伝子変異が検出された新型インフルエンザウイルス
（インフルエンザA/H1N1）の確認について**

徳島県で確認された患者（30代男性）から検出された新型インフルエンザについて、タミフル耐性を示すH275Yの遺伝子変異を持つ新型インフルエンザが分離されたとの報告が国立感染症研究所からありましたので、その概要について情報提供します。

なお、厚生労働省によれば、タミフルに対する耐性を持つ遺伝子変異は、ウイルスの重篤度（病原性）には直接影響を及ぼすものではないとされています。

<ウイルス検出の概要>

1 国立感染症研究所による遺伝子解析の内容

- ・オセルタミビル耐性マーカーH275Yを検出した。
- ・季節性インフルエンザA/H1N1ウイルスの遺伝子との交雑体ではないことが確認された。

なお、今後、国立感染症研究所において、薬剤感受性試験を実施し、最終判断されることになっている。

2 患者の経過

- ・患者は、予防用タミフルを投与中に発症したが、治療用に増量後速やかに解熱し、治癒した。
- ・その後、家族を含めた周囲への感染拡大は認められていない。
- ・なお、患者に渡航歴はありません。